

## アレルギー科に再診される患者様へ

平成25年9月10日

予約枠を超えた人数の患者様を診療しているために、待ち時間が大変長くなってご迷惑をおかけしています。多くの患者様に、納得できるまでできる限りの説明をさせて頂きたいと考えていますので、以下の点にご留意いただいて、効率的な診療にご協力をお願いいたします。

- ・ 予約日の急な変更が大変難しい状況になっています。風邪や日常的な症状の変化、薬が不足した場合の追加処方などは、ご近所でいつでも受診できる、**かかりつけ**の先生を持って頂くことをお勧めします。
- ・ アレルギー症状の悪化(湿疹の急激な悪化、喘息発作、アナフィラキシーなど)には、**総合診療科**に予約をとって受診してください。総合診療科担当医が必要と判断した場合は、アレルギー科医師が対応いたします。時間外の緊急時には、当直医が対応します。
- ・ 処方されている飲み薬、塗り薬、吸入薬の**残量**を確認して受診して下さい。
- ・ 湿疹やじんま疹が急に悪化した時は、**写真**をとって見せて下さい。
- ・ 待合のプラズマディスプレイに注意して、順番が近づいたら診察室付近でお待ち下さい。
- ・ 終了時間に余裕を持って受診してください。特に、3時以降の予約枠と土曜日は大変混み合っています。
- ・ 受診間隔は、およそ1か月〜3か月です。**ご都合の悪い日程**をあらかじめ確認しておいて下さい。園や学校の行事、始業式・終業式などの日程も確認しておいて下さい。
- ・ 症状の様子、診察で質問したいこと、残薬の量、処方してほしい薬などをあらかじめメモしておきましょう。次ページの「**アレルギー科外来受診メモ**」をご利用いただくと便利です。

当科では、外部の医師・栄養士・看護師・養護教諭、それを目指す学生さん等の研究・研修や見学を多く受け入れています。診察時にこれらの方が陪席する場合がありますことを、ご了解ください。また、多くの臨床研究を手掛けて情報発信に努めていますので、ご協力ください。これらのことがご迷惑な方は、遠慮なく受付や看護スタッフに声をおかけ下さい。

## アレルギー科外来受診メモ

受診日 平成 25 年 月 日

### 気管支ぜん息

- ★ぜん息発作があった（時期、きっかけ、その時の対応内容）
  
- ★風邪、その他の体調不良があった（時期、きっかけ、その時の対応内容）
  
- ★予防薬（普段から使うくすり）の名前と残量（吸入薬は、診察時に持参してください）
  - 飲み薬
  - 吸入薬
- ★発作止め薬の名前と残量

### アトピー性皮膚炎

- ★使っているステロイド軟膏の名前と残量（残っているチューブの数、容器の数）
  
- ★使っている保湿薬の名前と残量
  
- ★飲み薬の名前と残量

### 食物アレルギー

- ★誘発症状があった（時期、食品の種類、症状、その時の対応内容）
  
- ★誤食したが症状が出なかったことがあった
  
- ★診察時に確認しておきたいこと

### 処方して欲しい薬、必要な診断書などがあつたらメモしておきましょう